



安全・安心な細菌から外膜小胞ワクチンをつくります

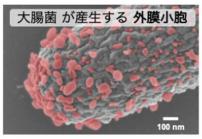
自己紹介



我が国発 世界標準となる ワクチン開発基盤 の構築を目指します

どんな新しい技術ですか?

安全性の高い大腸菌が作り出す **外膜小胞 (小さな粒子たち)**でワクチンをつくります

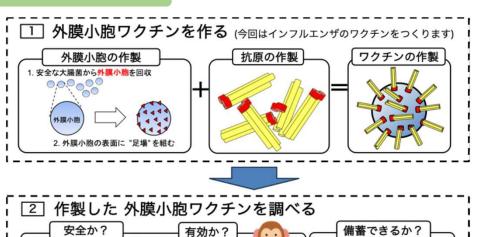


*赤い粒々が外膜小胞です

良い保存条件を調べます

使用期限どのくらいか?

どんな研究ですか?

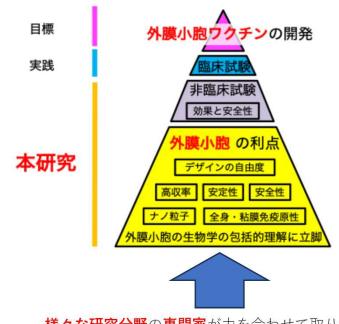


どんなことが解決できますか?

本研究構想の安全な外膜小胞ワクチンのプラットフォームは、 外膜小胞担体 (共通モジュール) を用いるユニバーサルなワクチン モダリティです

今回はインフルエンザウイルスを研究開発の対象にしますが、その他の重点感染症等ワクチン開発に展開することが可能です

感染症有事に向けた強固な備え



様々な研究分野の専門家が力を合わせて取り組みます

Bacteriology

Vaccinology

Molecular Biology

Animal Science

Bio-engineering

Chemical Engineering CMC

CMC B

Bioinformatics

(提案者:国立健康危機管理研究機構 中尾龍馬)

基本情報

対象病原体	インフルエンザウイルス
モダリティ	外膜小胞ワクチン
投与経路	経鼻投与・筋肉内投与
研究開始時期	2025年8月
開発企業 (アカデミア) 連携の有無	筑波大学・京都大学